

## 1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

2014年中の1月から5月のチリ国警察の犯罪分析課統計の結果、総被害認知件数は前年比0.5パーセント増加した。罪種別で見ると、現行犯逮捕を含むひったくり事件が前年比25.8パーセント増加、強盗事件が同比1.8パーセント増加している。また発生場所としても、首都圏の家庭侵入による窃盗事件が前年比1.9パーセント減少したものの、事務所やATM機設置場所等の人が居住していない場所に対する窃盗事件は前年に比べ1.7パーセント増加している。

また爆弾を使用してATM機を破壊の上、現金を強取する事案や拳銃を使用して現金輸送車を襲撃する事件も多発しており、警察官にも発砲して殉職者が出ているなど、凶悪事件も増加傾向にある。

6月1日から実施されたバス料金の値上げに反対するバスへの放火、器物損壊等が多発しており、バス内におけるスリ以上に注意を要する状況となっている。

## 2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 4月5日(土)未明、第7州(マウレ州)モリナ市の民家において、39歳の女性が口論の末、夫に発砲して殺害後、遺体をバラバラにして大きな鍋で煮込み、ゴミ袋に詰めて処分しようとしたが、結局警察に出頭し、逮捕された。

(2) 4月9日(水)22時30分頃、サンティアゴ市キリクラ区の薬局店において強盗事件が発生した。強盗犯が店内に侵入し、けん銃を突き付けて店員や買い物客等を脅したが、偶然居合わせた警察官が応戦、強盗犯は妊婦を人質に取って逃走したが、後刻逮捕された。

(3) 4月28日(月)の深夜、サンベルナルド区警察に銃撃の通報があった。乗用車を発見したところ車内に45歳の男性が頭部に4発の銃撃を受け死亡、女性と子供は負傷した。警察は1名を逮捕した。

(4) 5月2日(金)、プロビデンスシア区ロスコンキスタ通りの宝石店に強盗が押し入り、金庫を破壊の上、現金等総額120,000,000ペソ相当を強奪された。

(5) 5月5日(月)9時40分頃、ラデサ通り1201番地にある銀行に労働者の身なりをした強盗が押し入り、銃で警備員を脅し6,000,000ペソを奪い逃走した。

(6) 5月13日10時50分頃、ラス・コンデス区に所在するモール内の宝石店に5人組(うち3人は警備員に扮装)が店内に押し入り、銃で店員を脅し、現金、貴金属を奪いナンバーの付いていない車両に乗って逃走した。

(7) 5月14日(水)、アメリカベスプシオ通りの北部の高速入口付近におい

て現金輸送車が、3台の車により妨害され、毒ガスを使用し車両から警備員を降ろし、縛り上げたうえに現金を強奪した。

(8) 5月23日(金)明け方、首都圏セロナビア区で検問中、ナンバーを泥で塗り隠した乗用車が検問を回避したため警察が追跡したところ、警察官に発砲し警察官1名が殉職した。その後6名を逮捕した。

(9) 5月23日(金)午前6時30分頃、プロビデンシア区ヌエバライオンにある銀行内にあるATM機を爆弾を使用して爆破した。被害はなし。

(10) 5月28日(日)午前6時30分頃、プロビデンシア区に所在する病院に覆面した5人組の強盗が押し入り、ATM機付近にガスを充満させ爆発させたが、現金を窃取できずに逃走した。

(11) 6月3日(火)午前中、ラス・コンデス区の銀行に覆面した4人組が押し入り、ガスを使用してATM機を爆破させ現金ボックスを奪い逃走した。

(12) 6月11日(水)早朝、プロビデンシア区のパティオ・ベジャビスタに4人組の強盗が押し入り、ATM機を爆破させ現金ボックスを奪い逃走した。

(13) 6月13日(金)昼頃、サンディエゴ通りの銀行に銃を所持した強盗が押し入り5,000,000ペソを奪い逃走した。警察は2時間後に犯人を逮捕した。

(14) 6月13日(金)21時30分頃、ラス・コンデス区にあるモールのデパートに覆面した3人組の強盗が押し入り、売上金を引き取りに来た現金輸送車の警備員を銃で叩き45,000,000ペソを奪い逃走した。

(15) 6月16日(月)早朝、ラス・コンデス区アポキント通りの銀行に四駆車で乗り付けた強盗がATM機を爆破させたが、現金を奪えずに逃走した。

(16) 6月18日(水)午前10時15分、マイプ区のスーパーマーケットに拳銃を所持した強盗が押し入り、現金輸送車がATM機に入れる現金袋を奪い逃走した。

(17) 6月20日(金)午前4時頃、ビタクラ区ラスウアルタ通りのATM機が設置されているスポーツ施設に2人組の強盗が押し入り、警備員を縛り上げ、ATM機を爆破させ現金ボックスを奪い逃走した。

同日午前7時頃、ラス・コンデス区ヌエバタハマル通りの銀行のATM機をガスを利用して爆破したが、現金を奪えずに逃走した。

### 3 テロ・爆弾事件発生状況

(1) 5月16日(金)、大学から出てきた覆面グループが、付近の交通を妨害した後、近くにある刑事警察(PDI)殺人課に対し約20本の火炎瓶を投げ入れた。付近からアナーキストを仄めかすパンフレットが発見された。

(2) 5月23日(金)午前7時頃、南部検察庁の警備員が不審物を発見、警

察の特殊部隊により2個のブタンガス入りの可燃式発火物を処理した。

(3) 5月27日(火), プロビデンスシア区スエシア通りのUDI 政党事務所付近の歩道上において不審物(リュック)が発見され, 中から手製爆弾が見つかり警察の特殊部隊により処理された。

(4) 6月5日(木) 午前0時36分, プエントルト区(サンティアゴ南部)の拘置所入口において, TNT爆弾により防弾扉の一部が破損した。

#### 4 薬物事案

(1) 北部タラパカ州ウアラで, 高速道路の検問を突破した車両から200,000服分以上の pasta base (プロセスコカインの混合物) 約40キロを押収した。被逮捕者はボリビア人32歳, 22歳, 17歳の3名。

#### 5 邦人被害

(1) 4月3日(木) 13時頃, 第7州(マウレ)の高速道路のレストランにおいて, 邦人旅行者が食事中に手荷物を座っている椅子の下に置いていたところ, 気付かないうちに盗まれた。手荷物の中にパスポート, クレジットカード, ノートパソコン現金及び日本の運転免許証が入っていた。

(2) 4月24日(木) 22時15分頃, サンティアゴ市の大学近くのバスターミナルにおいて, 邦人旅行者がバスにリュックサックを乗せた際にバスの外側に置いてあった鞆を盗まれた。鞆にはパスポートと様々な書類が入っていた。

(3) 4月29日(火) 17時頃, サンティアゴ市内のホステルにおいて, 邦人旅行者が共有キッチンに鞆を置いていたところ, 鞆から財布とパスポート等を盗られた。

(4) 6月5日(木) バイクでチリ各地を回っていた邦人旅行者が, 北部カマラのバスターミナルでバイクの修理中, 置き引き被害に遭い, カメラ, 時計等を盗まれた。

(5) 6月27日(金) 11時頃, サンティアゴ市内のレストランにおいて, 邦人出張者が食事中に椅子の下に置いた鞆が置き引きに遭った。鞆の中にはパスポート等が入っていた。

(6) 6月23日(月) 19時30分頃, モールスポーツ1階階段脇のATM機において現金を下ろした際にスキミング被害に遭い, その週末の28, 29, 30日の3日間に各20万ペソ下ろされ, 更にそのカードを使用し90万ペソの買い物をされるという被害に遭った。被害者は, 6月30日に銀行からの連絡により被害に気が付いた。